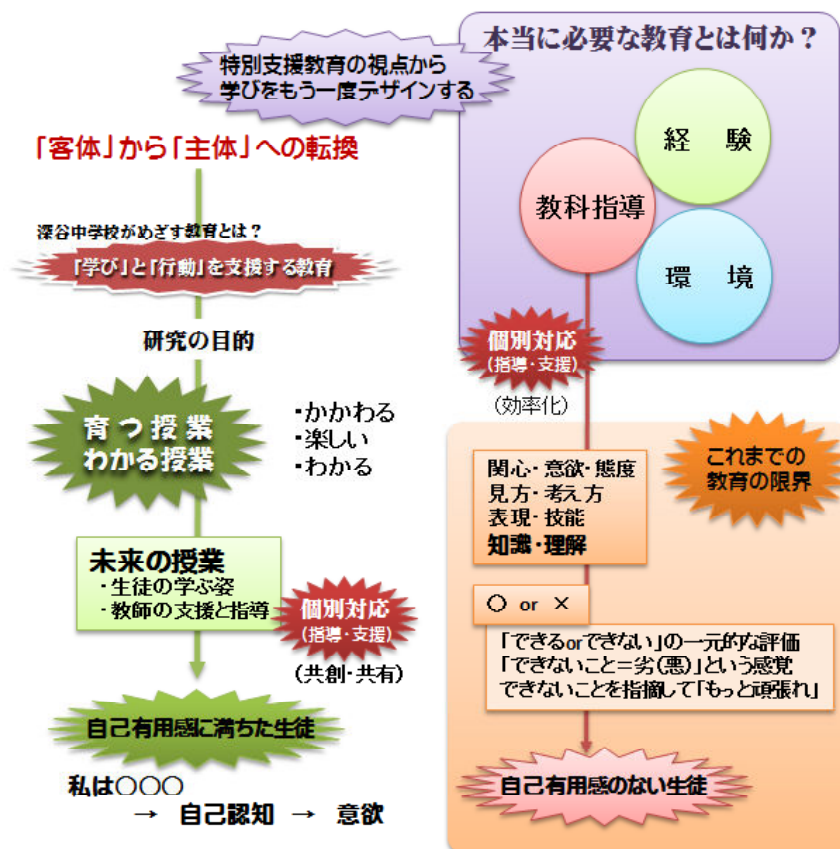


「私たちは『子どもたちの未来』を俯瞰しているだろうか？」
 研究を通して、そんな疑問が湧いてきます。
 発達障害の有無に関係なく、すべての子どもたちが幸せに生きることができるよう、私たち大人は努力しなければなりません。



特別支援教育の視点から「学び」をもう一度デザインし、すべての子どもたちを「学びの客体」から「学びの主体」へと変えていかなければなりません。そして、すべての生徒が「育つ・わかる」を実感できるよう、教育のモデルチェンジが必要なように思います。

本校の研究は、「通常の学校における特別支援教育」という扉の前に立ち、一步を踏み出したに過ぎませんが、課題解決に苦闘した本校の経験が、他の学校のこれからの教育実践に少しでも役立てば幸いです。

本校の研究に対して、適切な御指導や御助言をいただきました埼玉県教育委員会特別支援教育課・北部教育事務所、埼玉県特別支援教育研究会、深谷市教育委員会をはじめとする諸先生方に対しまして、厚くお礼申し上げます。

また、研究の視点や方向性について明確で的確な御指導をいただきました立教大学教授大石幸二先生に対しまして、心よりお礼申し上げます、研究に一つの区切りをつけたいと思います。

ありがとうございました。

平成21・22年度 埼玉県教育委員会委嘱・埼玉県特別支援教育研究会委嘱
「特別支援教育の充実とその視点に立つ学校教育の推進」



これまでの制度や仕組みを活用しながら「新しい教育」の実現をめざす！